

仕様							
■照明							
品 番	消費電力	器具光束	定格電源電圧	定格電源周波数	待機電力	サイズ	質量
CEA-2108DLSP	照明部：39.0W (スピーカー部：5.0W)	4200lm (最大点灯時)	AC100V	50Hz/60Hz	0.5W	φ500×H103mm	約2.0kg
CEA-2112DLSP	照明部：47.0W (スピーカー部：5.0W)	5200lm (最大点灯時)					

※LEDモジュール寿命は 40,000 時間です。LEDが点灯しなくなるか、光束が 70％ に低下するまでのいずれか短い時間を推定したもので、製品の寿命を保証するものではありません。
※商品の仕様は予告なく変更することがあります。

■スピーカー

スピーカー	形式	1ウェイ1スピーカー パスレフ型
	使用スピーカー	フルレンジ
アンプ	インピーダンス	4Ω
	実用最大出力	3W
Bluetooth®	バージョン	5.0
	出力	Class2 (2.5mW)
	対応プロファイル	A2DP
	対応コーデック	SBC
	登録可能台数	最大8台まで
	動作距離	見通し距離約10m

Bluetooth® 機器について

機器認定について

本製品内蔵の無線装置は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として、認証を受けています。したがって、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、下記の事項を行うと法律で罰せられることがあります。
・本製品を分解／改造すること

周波数について

本製品は 2.4GHz 帯の 2.4000 GHz から 2.4835 GHz まで使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記の事項に注意して使用してください。

本製品の使用上の注意事項

- 本製品の使用周波数は 2.4GHz 帯です。この周波数帯では電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の生産ラインなどで使用される、免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など（以下、「他の無線局」と略す）が運用されています。
- 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
 - 万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または使用を停止（電波の発射を停止）してください。
 - 不明な点や、その他お困りになったときは、アイリスコールまでお問い合わせください。



この無線機器は 2.4GHz 帯を使用します。変調方式として AFH 変調方式を採用し、与干渉距離は 10m です。

Bluetooth® 無線技術について

Bluetooth® 無線技術は、パソコンやデジタルカメラなどのデジタル機器同士で通信を行うための近距離無線技術です。およそ 10m 程度までの距離で通信を行うことができます。無線技術によってUSBのように機器同士をケーブルでつなぐ必要はなく、また、赤外線技術のように機器同士を向かい合わせたりする必要もありません。例えば片方の機器をかばんやポケットに入れて使うこともできます。

Bluetooth® 標準規格は世界中の数千社の会社が賛同している世界標準規格であり、世界中のさまざまなメーカーの製品で採用されています。

通信有効範囲

見通し距離で約 10m 以内で使用してください。

以下の状況においては、通信有効範囲が短くなることがあります。

- Bluetooth® 接続している機器の間に人体や金属、壁などの障害物がある場合
- 無線 LAN が構築されている場所
- 電子レンジを使用中の周辺
- その他電磁波が発生している場所
- 送信機に別のBluetooth® 機器を接続している場合

他機器への影響

Bluetooth® 機器が発生する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所では本機および Bluetooth® 機器の電源を切ってください。

- 病院内／電車内／航空機内／ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所
- 自動ドアや火災報知器の近く

ご注意

- Bluetooth® 機器を使うには、相手側Bluetooth® 機器が本製品と同じプロファイルに対応している必要があります。ただし、同じプロファイルに対応していても、Bluetooth® 機器の仕様により機能が異なる場合があります。
- Bluetooth® 無線技術の特性により、音声再生時に、送信側に比べて受信側は音声がかわずかに遅れて聞こえます。特に動画の音声を受信する場合、映像よりも音声が遅れて聞こえる場合があります。
- 本製品は、Bluetooth® 無線技術を使用した通信時のセキュリティーとして、Bluetooth® 標準規格に準拠したセキュリティー機能に対応していますが、設定内容などによってセキュリティーが十分でない場合があります。
- Bluetooth® 無線通信を行う際は注意してください。
- Bluetooth® 技術を使用した通信時に情報の漏えいが発生しましても、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品と接続する Bluetooth® 機器は、Bluetooth® SIG の定める Bluetooth® 標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。ただし、Bluetooth® 標準規格に適合していても、Bluetooth® 機器の特性や仕様によっては、接続できない、操作方法や表示・動作が異なるなどの現象が発生する場合があります。
- 本製品と接続する Bluetooth® 機器や通信環境・周囲の状況によっては、雑音が入ったり、音が途切れたりすることがあります。



スピーカー搭載 LEDシーリングライト CEA-2108DLSP／CEA-2112DLSP

このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 使用する前に「安全上の注意」を必ずお読みください。
- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- この取扱説明書はお使いになる方がいつでも見ることができるよう大切に保管してください。
- 「保証書」は、「お買い上げ日」「販売店名」の記入を必ず確かめ販売店からお受け取りください。

- 使用環境：一般屋内

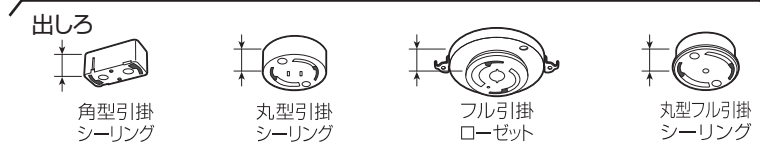
この商品は、海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY.

■取り付け可能な配線器具

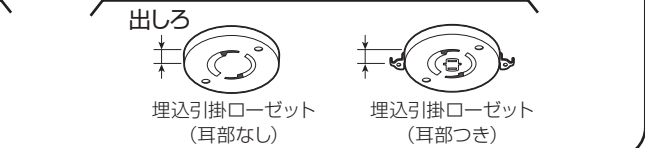


注意 配線や端子が露出している配線器具には取り付けないでください。感電のおそれがあります。ご不明な場合は、お買い上げの販売店または工事専門店へお問い合わせください。

角型・丸型引掛シーリングローゼット／出しろ：22～24mm



埋込引掛ローゼット／出しろ：10～14mm



安全上の注意

安全に使用いただくために下記の事項を必ずお守りください。

図記号の意味



注意を促す記号です。



禁止を示す記号です。



必ず行うことを示す記号です。



警告 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

	改造や、部品交換をしない 落下・感電・火災などの原因になります。
	調光器を使用しない 破損や発煙の原因になります。 (配線器具の交換は資格が必要です。)
	可燃物で覆わない 可燃物を被せたり、近づけたりしない 火災の原因になります。
	取り付けできない天井・配線器具に取り付けない 「取り付けできない天井・配線器具」に記載された場所や配線器具には取り付けないでください。落下・感電・火災などの原因になります。(配線器具の交換は資格が必要です。)
	取り付けは確実に行う 落下・破損・けがの原因になりますので、本書にしたがい確実に取り付けてください。
	異常を感じたら速やかに電源を切る すぐに電源を切り、お買い上げの販売店またはアイリスコールへお問い合わせください。
	交流100Vで使用する 火災・感電のおそれがありますので、定格電圧以外では使用しないでください。
	清掃・取り付け・取り外しの際は必ず電源を切る 感電の原因になります。

ご使用についてのお知らせ

- 1個の壁スイッチで2台以上の照明器具を操作しないでください。同時に切り替わらない場合があります。
- 付属のリモコンはアイリスオーヤマ製照明器具専用です。他のリモコンを使用する機器(テレビなど)には使用できません。
- 本製品の近くで他の赤外線リモコン方式の機器やワイヤレス機器を使用すると、正常に動作しない場合があります。
- 点灯直後や明るさを切り替えた直後などに、リモコン信号を受信しにくくなる場合があります。その際は少し時間を置いて、再度リモコンを操作してください。
- 天井や壁、床の材質によっては、リモコンが反応しにくくなる場合があります。
- ラジオ、ワイヤレス機器はなるべく照明器具から離して使用してください。雑音が入る場合があります。
- LED照明は、同じ型式・形状でも商品ごとに発光色、明るさが異なることがあります。
- 照射距離が近い場合、照射面で光むらができることがあります。

- 本製品はリモコンで消灯しても、約0.5Wの電力を消費しています。長期間使用しない場合は、壁スイッチを切ってください。
- 調色によっては全光束、消費電力、固有エネルギー消費効率が変わる場合があります。
- 本製品は、LED光源が内部に組み込まれているため、LED光源の交換はできません。
- 停電復帰時や、予期せずにごく短時間の停電が発生した場合、点灯状態が変わることがあります。
- 充電電池をリモコンに使用しないでください。操作できないことがあります。
- エアコン吹き出し口近くへの設置など、温度が高くなる機器の近くに設置しないでください。また、真下にストーブやコンロなどの発熱機器、温度が高くなる機器を設置しないでください。故障の原因になります。
- 防犯カメラやビデオカメラを介して照射面を見た際、カメラのモニターや録画画像にしま模様やちらつきが見える場合があります。

アイリスオーヤマ株式会社

〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号
ホームページ <https://www.irisohyama.co.jp/>

製品に関するお問い合わせ

アイリスコール

0120-311-564

9:00～17:00(年末年始・会社都合による休日を除く)

修理に関するお問い合わせ

修理専用コール

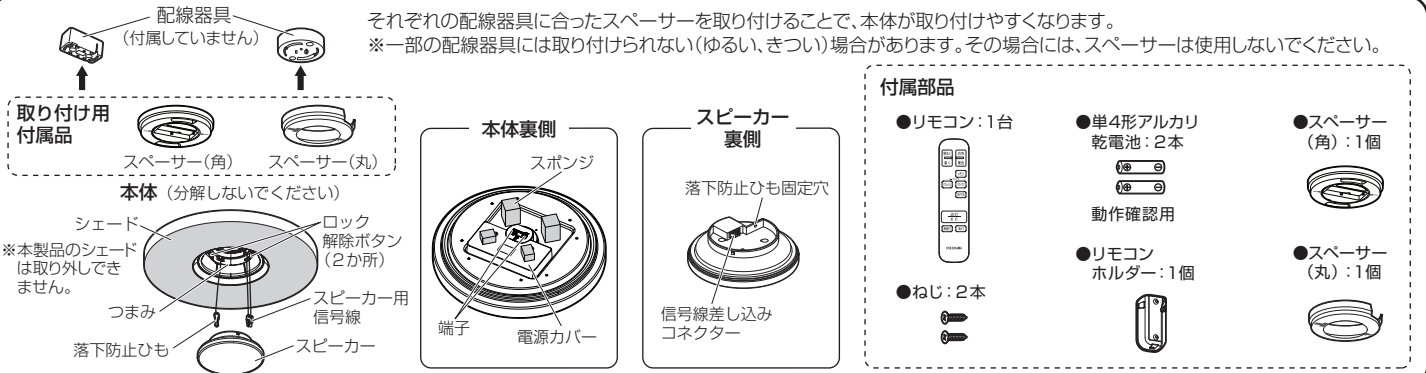
0800-170-7070

9:00～17:00(年末年始・会社都合による休日を除く)

- お問い合わせの際は、製品の型番をお調べいただき、取扱説明書・ご購入履歴のわかるもの・メモのご用意をお願いします。

各部の名称

- 組み立てる前に下記の部品がすべてそろっていることを確かめください。
- 表記以外の部材は梱包材です。



明かりをつける

壁スイッチで操作する

■壁スイッチで明かりをつける

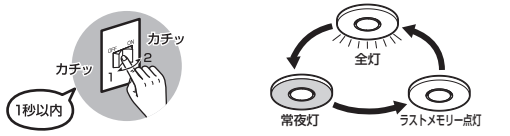


ラストメモリー点灯
前回点灯時の状態で点灯させます。
※前回消灯時が常夜灯の場合は常夜灯で点灯します。



■壁スイッチで点灯状態を切り替える

壁スイッチをONにした状態で、短く（1秒以内）スイッチを操作することで、点灯状態を切り替えることができます。



■色を変える

シーリングライトの色を調節します。
※調色10段階
調色範囲を超えると、「ビビッ」と音がします。

調色ボタン〔白色（昼光色）〕
明かりを1段階ずつ白色に近づけます。
長押しで連続調節できます。

調色ボタン〔暖色（電球色）〕
明かりを1段階ずつ暖色に近づけます。
長押しで連続調節できます。

■明かりを記憶させる

メモリーにお好みの明かりを記憶し、以後簡単にその明かりを再現できます。

■メモリボタン

5秒長押し: 「ビビッ」と音がなり、明るさを記憶させます。
以後短いタッチでボタンを押すと記憶させた明かりを再現します。
変更する場合は再度5秒長押しすることで別の明かりを記憶させ、上書きします。

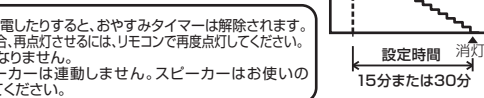
■おやすみタイマーで消灯させる

リモコンでおやすみタイマーを設定すると、しだいに暗くなり15分または30分後に消灯します。

■おやすみタイマーボタン

1回目: 「ビビッ」と音がなり15分で設定できます。
2回目: 「ビビッ」と音がなり、30分で設定できます。
3回目: 「ビビッ」と音がなり、タイマーを解除します。

〈点灯状態からのおやすみタイマー動作イメージ〉



ご注意

- 壁スイッチをOFFにしたり、停電したりすると、おやすみタイマーは解除されます。
- おやすみタイマーで消灯した場合、再点灯させるには、リモコンで再度点灯してください。
- 最小調光の明るさ以下にはなりません。
- おやすみタイマーとスピーカーは連動しません。スピーカーはお使いのBluetooth機器で操作してください。

リモコンで操作する

①壁スイッチを「ON」にする



②リモコンを本体に向けてボタンを操作する



■明るさを変える

シーリングライトの明るさを調節します。
※調光10段階
調光範囲を超えると、「ビビッ」と音がします。

調光ボタン〔明るく〕
明かりを1段階明るくします。
長押しで連続調節できます。

調光ボタン〔暗く〕
明かりを1段階暗くします。
長押しで連続調節できます。

■シーンを切り替える

■シーンボタン〔リフレッシュ〕

太陽光に近い爽やかな明かりで照らします。
ポップなどの音楽を楽しむときに最適です。

■シーンボタン〔リラックス〕

青色の光を抑えた電球色で柔らかく照らします。
ゆったりとした音楽でくつろぐときに最適です。

■明かりをつける

■点灯/全灯ボタン

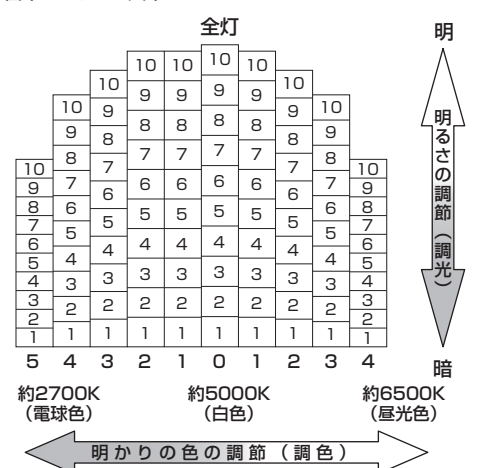
消灯状態からラストメモリー点灯します。点灯した状態でもう一度押すと全灯になります。繰り返し押すとラストメモリー点灯と全灯を繰り返します。

■常夜灯ボタン

常夜灯を点灯します。

消灯ボタン
明かりを消灯します。

明かりの色が白色（5000K）で全灯のときが最も明るくなります。調色を行い、光の色合いを強くすると明るさは低下しますが、異常ではありません。



チャンネルの切り替えについて

※出荷時はCH1に設定されています。

リモコンに電池が入っていること、壁スイッチがあれば、ON（入）になっていることを確認してから、切り替えてください。

リモコンの電池カバーを外します。
リモコンを照明器具に向けながら内側にあるスライドスイッチを動かしてチャンネルを切り替えてください。
※リモコンのチャンネル切り替えに合わせて、チャンネル設定信号が照明器具にも送られます。

複数の照明器具がある場合

●1つのリモコンで操作する

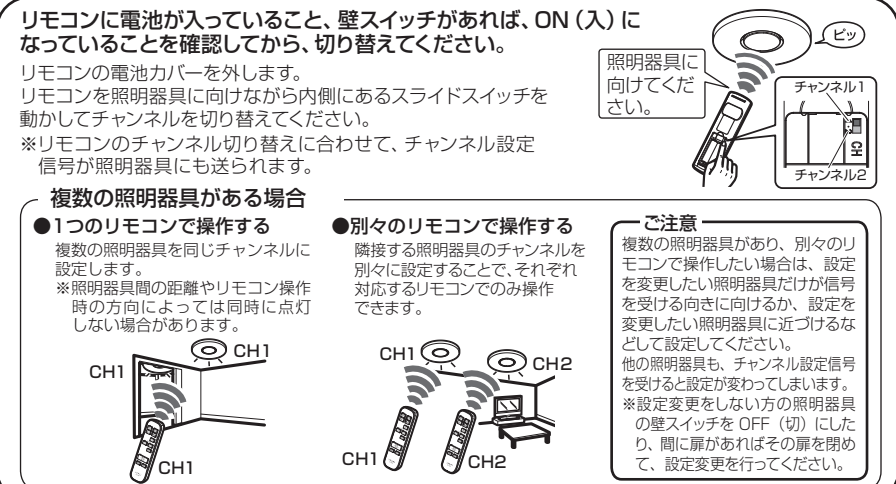
複数の照明器具を同じチャンネルに設定します。
※照明器具間の距離やリモコン操作時の方向によっては同時に点灯しない場合があります。

●別々のリモコンで操作する

隣接する照明器具のチャンネルを別々に設定することで、それぞれ対応するリモコンでのみ操作できます。

ご注意

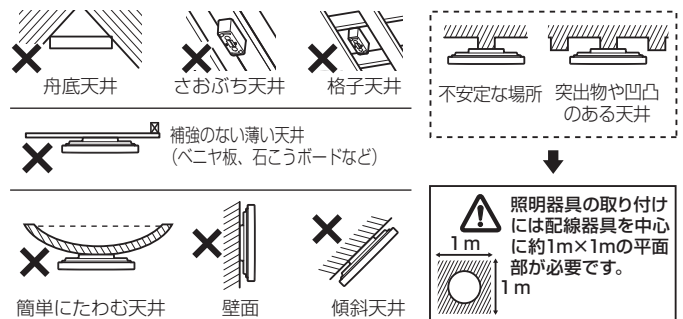
複数の照明器具があり、別々のリモコンで操作したい場合は、設定を変更したい照明器具だけが信号を受ける向きに向けるか、設定を変更したい照明器具に近づけるなどして設定してください。
他の照明器具も、チャンネル設定信号を受けると設定が変わってしまいます。
※設定変更をしない方の照明器具の壁スイッチをOFF（切）にしたり、間に扉があればその扉を開けて、設定変更を行ってください。



取り付けできない天井・配線器具

次のような場所には取り付けない

本照明器具は天井取り付け専用です。指定以外の場所に取り付けると、火災・感電・落下によるけがの原因となります。



次のような配線器具には取り付けない

火災・感電・落下によるけがの原因となります。配線器具の交換は、販売店・工事に依頼してください。（配線器具の交換は資格が必要です。）

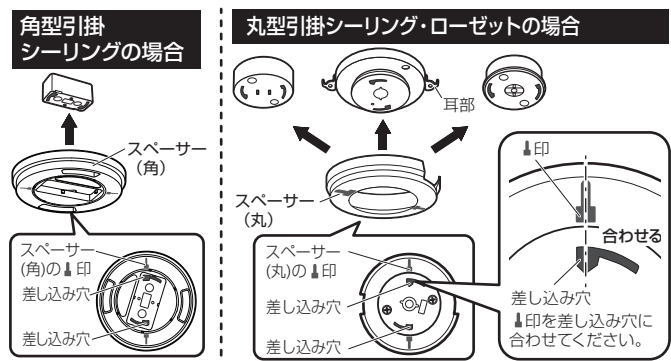


取り付け

⚠警告 取り付けは必ず電源を遮断してから行ってください。

1 配線器具にスペーサーを取り付ける

それぞれの配線器具に合ったスペーサーを取り付けることで、本体が取り付けやすくなります。（埋込引掛ローゼットの場合は、スペーサーは使用しません。）
※一部の配線器具には取り付けられない（ゆるい、きつい）場合があります。その場合には、スペーサーは使用しないでください。



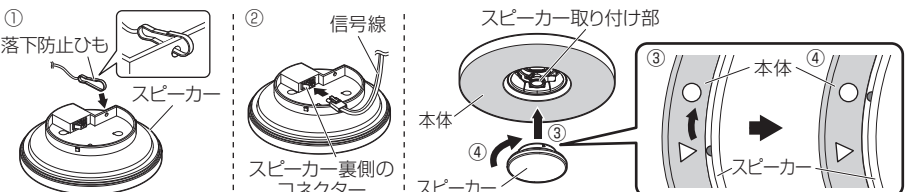
2 スピーカーを取り外す

スピーカーを反時計回りに回して本体から取り外してください。



4 スピーカーを取り付ける

- ①スピーカー裏側の落下防止ひも固定穴に本体側の落下防止ひもを固定してください。
- ②スピーカー裏側のコネクターに本体から出ている信号線を差し込んでください。
- ③スピーカー側面にある凸を本体側に刻印されている▽にあわせ、スピーカーを真っ直ぐ押し込んでください。このとき信号線や落下防止ひもが挟み込まないよう注意してください。
- ④スピーカーを回転が止まるまで時計回りに回してください。本体側に刻印されている○とスピーカー側面にある凸があっていることを確認してください。



お手入れについて

照明器具が汚れていると暗くなります。明るく安全に使用していただくため、定期的に清掃することをおすすめします。

⚠注意

- 必ず壁スイッチをOFF（切）にするか、電源を遮断してください。感電の原因となります。
- 消灯直後は照明器具が高温になっています。確実に冷えたことを確認してから清掃してください。

1 水で薄めた中性洗剤に、柔らかい布を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取る

2 汚れが落ちたことを確認後、洗剤を拭き取る

水に浸して固く絞った布で完全に拭き取ってください。

3 仕上げに乾いた柔らかい布で、水分を完全に拭き取る

●リモコンの送信部は、乾いた柔らかい布で定期的に汚れを拭き取ってください。汚れるとリモコンでの操作がしにくくなります。

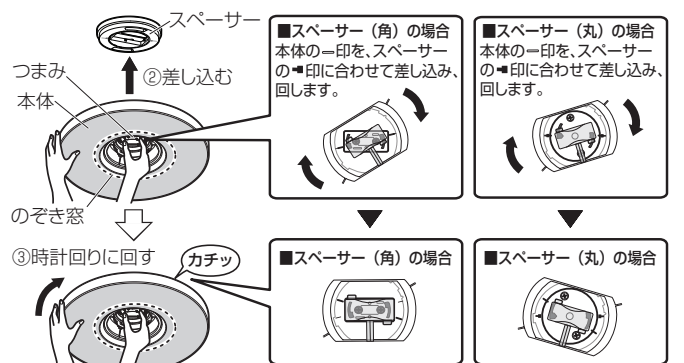


⚠注意

絶対に、水をかけたり、水につけて洗ったりしないでください。火災・感電・故障の原因になります。

3 本体を取り付ける

- ①本体中央のつまみを持ち、のぞき窓から配線器具の（端子）差し込み穴の位置を確認し、スペーサーの印に本体の印を合わせます。
※スペーサーを使用していない場合は、本体の印を目安に端子を差し込み穴に合わせてください。
- ②そのまま持ち上げて端子を差し込んでください。
- ③つまみを時計回りに回します。
つまみを天井側に押しつけながら「カチッ」と音がするまで回してください。
※ロック解除ボタン（「取り外し」参照）は押さずに回してください。
押しながら回すと「カチッ」と音がしません。
※配線器具の種類によっては「カチッ」と音がしない場合があります。



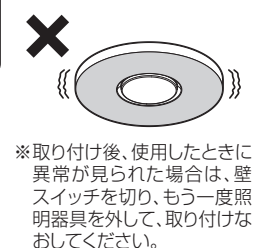
⚠注意

本体を必要以上に回転させないでください。引掛シーリングやローゼットが破損します。

⚠警告

スピーカーは確実に本体に取り付けてください。落下によるけがのおそれがあります。

照明器具がぐらついたり、傾いたりしている場合は正しく取り付けられていないため、もう一度取り付けなおしてください。



取り外し

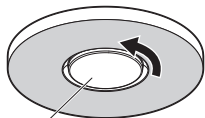


警告

- 取り外しは必ず電源を遮断してから行ってください。
- 消灯直後は照明器具が高温になっています。確実に冷えたことを確認してから取り外してください。

1 スピーカーを取り外す

スピーカーを反時計回りに回して本体から取り外してください。



スピーカー

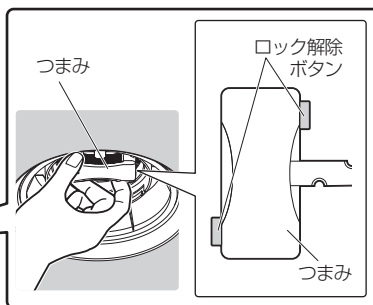
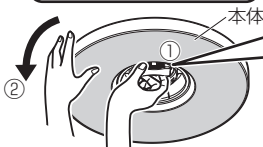
2 本体を取り外す

- ① つまみの2か所のロック解除ボタンを2つ同時に押してください。
- ② そのまま反時計回りに回して本体を外してください。



注意

本体を片方の手で支えながら外してください。本体の落下によるけがや破損の原因となります。



3 スペーサーを取り外す



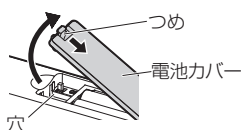
注意

本体を外したはずみでスペーサーが落下することがあります。

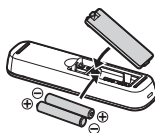


乾電池の入れかた

1 つめを押しながら、裏面の電池カバーを持ち上げる



2 表示に合わせて⊕-を間違えないように乾電池を入れ、つめの向きを合わせて電池カバーを閉める

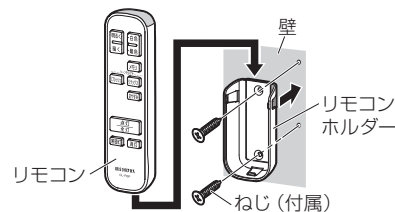


- 電池の寿命は新品のアルカリ乾電池を使用したときで、約1年です。付属の電池は動作確認用であり、上記より早く消耗することがあります。
- 電池を交換するときは、2本とも新品の単4形アルカリ乾電池に交換してください。
- 新旧、異種の電池を混ぜて使用しないでください。
- 長時間使用しないときは、電池を取り出して保管してください。

リモコン収納のしかた

リモコンホルダーを壁に取り付け、壁掛け収納ができます。

※収納した状態では操作しないでください。



故障かな?と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みの上、下記の点を確認してください。

状 態	考えられる原因	処 置
リモコンで照明器具が操作できない	リモコンの電池が正しく入っていない。	電池を正しく入れてください。
	リモコンの電池が消耗している。	新しい電池に交換してください。
	照明器具とリモコンのチャンネルが合っていない。	「チャンネル切り替えについて」を参照し、チャンネルを合わせてください。
照明器具が点灯しない	壁スイッチがOFFになっている。	壁スイッチをONにしてください。
調色すると暗く感じる	光の色合いによって、最大の明るさは異なります。全灯時を100%とすると、電球色、昼光色へ最も調色した時は最大値が約60%の明るさとなりますが故障ではありません。	
壁スイッチをONにしても点灯しない	照明器具が「消灯」状態になっている。	「明かりをつける」を参照し、壁スイッチを短く(1秒以内)操作して点灯状態を切り替えるか、壁スイッチをONにしてリモコンで切り替えてください。
操作していないのに明かりがついたり、変わったりする	短い停電などにより、「壁スイッチで点灯状態を切り替える」機能が働き、点灯状態が切り替わることがあります。	ご使用にならない時は、壁スイッチをOFFにしてください。
		「明かりをつける」を参照し、壁スイッチを短く(1秒以内)操作して点灯状態を切り替えるか、壁スイッチをONにしてリモコンで切り替えてください。
スピーカーとBluetooth®接続できない	スピーカーが別のBluetooth®機器と接続している。	使用していないBluetooth®機器の電源を切ってください。
	壁スイッチがOFFになっている。	壁スイッチをONにしてください。
	スピーカーの信号線が接続されていない。	取扱説明書の「取り付け」を参照してください。
	壁を挟んだ別の部屋にいる。	同じ部屋で使用してください。
スピーカーから音が鳴らない	スピーカーが別のBluetooth®機器と接続している。	使用していないBluetooth®機器の電源を切ってください。
音が途切れる	電波環境が悪い。	使用していないBluetooth®機器の電源を切ってください。
		強い電波を発する機器から離して使用してください。
	Bluetooth®機器と照明器具の距離が離れている。	Bluetooth®機器と照明器具は見通し距離10m以内で使用してください。
	高音質・大音量の音声を長時間再生している。	Bluetooth®機器で、スピーカーのBluetooth®接続を再起動・再接続してください。

それでも解決できないときは、お買い上げの販売店、またはアイリスコールにお問い合わせください。



警告

ご自分での分解・修理・改造はおやめください。

モバイル端末とスピーカーをBluetooth® 接続する

使用前の準備 (Bluetooth® 機器をペアリング)

- ・本製品はBluetooth® を搭載しています。
- ・スマートフォン・タブレットなどのBluetooth® 機器で操作できます。
- ・1台のスピーカーに対して、複数のスマートフォン・タブレットを同時には使用できません。
- ・ワイヤレスの音楽再生機器など、他のBluetooth® 機器がスマートフォン・タブレットなどのBluetooth® 機器と接続されていると、スピーカーと通信できなくなるので、他のBluetooth® 機器の接続を解除してから設定してください。
- ・スピーカーにペアリングできるBluetooth® 機器は最大8台です。
最大ペアリング数を超えて登録すると、Bluetooth® 接続した順番が古いものから上書きされ、上書きされたBluetooth® 機器はペアリングが解除されます。上書きされたBluetooth® 機器を再度お使いいただくには、再度ペアリングしてください。
- ・再生中の音声と映像がずれるときは、照明器具のスイッチを入れなおしたり、Bluetooth® 接続をやり直してください。
- ・スマートフォン・タブレット・Bluetooth® 機器に搭載のワンセグやFMラジオなどの音声を再生する場合、スマートフォン・タブレット・Bluetooth® 機器の仕様や設定によって、再生できないことがあります。
- ・各機器の仕様や設定により、接続できない場合や、操作方法などが違うことがあります。
- ・スピーカー自体には音量調節機能を搭載していないため、Bluetooth® 機器の仕様によっては、音量調節できないことがあります。
- ・Bluetooth® 機器を再生する前に、音量を下げしてから接続してください。スピーカーから大音量で出力されることがあります。

ペアリングを行う

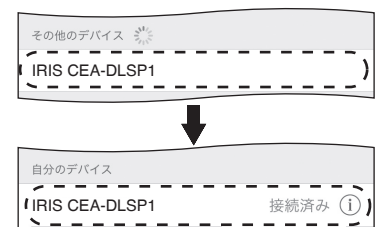
- 1 壁スイッチをONにし、電源を入れます。
- 2 Bluetooth® 機器の設定方法にしたがい、Bluetooth® の設定画面を表示させます。



- 3 「Bluetooth」設定画面で Bluetooth® を ON にします。



- 4 「IRIS CEA-DLSP1」を選んで接続開始します。
画面に「接続済み」と表示され、スピーカーから接続音が鳴れば使用可能です。



※ペアリングとは、Bluetooth® 機器とスピーカーをお互いに登録するための初期設定です。

登録されたスピーカーについては、再度ペアリングする必要はありません。

※ペアリングが完了できない場合は、一度壁スイッチをOFFにしてから、再度ONにしてください。

音楽を再生する

Bluetooth® 機器側で、動画や音楽の再生、音量の調整を行ってください。

※Bluetooth® 機器を再生する前に、音量を下げしてから接続してください。スピーカーから大音量で出力されることがあります。

接続を解除する

Bluetooth® 機器の設定方法にしたがい、Bluetooth® をOFFにすることで接続を解除できますが、以下の操作を行った場合は、自動的に接続が解除されます。

- Bluetooth® 機器が本製品と通信範囲外になった場合
- 壁スイッチをOFFにした場合